

基本計画部会第1ワーキンググループ 審議スケジュール(案)

回数、日時	議題	現行基本計画の項目	第37回基本計画部会 資料5 平成24年度統計法施行状況審議における共通的な視点等			
			評価の「視点」	対象と考えられる項目	委員等の意見の整理結果(今後の審議に当たって留意する事項)	
第1回 6月7日(金) 13:00～15:00	(1)第1WGの検討の進め方 ①審議方法の決定 ②審議対象項目の設定 ③タスクフォースの設置、審議の進め方等 ④審議協力者の選定		別添1	1 現行基本計画に掲げられた所期の目的(目標)はおおむね達成しているものの、施策の内容が次の段階を予定したステップとして位置づけられるなどの計画の中で位置づけを踏まえ、更なる取組の発展・充実を図るべき項目・事項はないか。	22(1) 国民経済計算の整備と一次統計等との連携強化	○ 2015年産業連関表作成の際には消費税率の引き上げと複数税率化が実施されているとすれば、基本価格による産業連関表とSNA推計が必要になり、それをどう進めていくかという議論が必要ではないか。
	(2)第1WGにおける平成24年度施行状況報告事項の確認			3 現行基本計画に掲げられた所期の目的達成が困難な(又は実効性のある取組が当面期待できない)ため、目標や施策の枠組みの見直し・整理・統合を図るべき項目・事項はないか。	22(1) 国民経済計算の整備と一次統計等との連携強化	○ 国民経済計算と一次統計の連携に係る行程表の作成が必要ではないか。
SNAタスクフォース (第1回) 6月21日(金) 10:00～12:00	○国民経済計算の整備と一次統計との連携強化(現行基本計画の評価と検討課題の抽出)	第2-2(1)国民経済計算の整備と一次統計等との連携強化、(5)財政統計の整備、(6)ストック統計の整備	別添1	1 現行基本計画に掲げられた所期の目的(目標)はおおむね達成しているものの、施策の内容が次の段階を予定したステップとして位置づけられるなどの計画の中で位置づけを踏まえ、更なる取組の発展・充実を図るべき項目・事項はないか。	22(1) 国民経済計算の整備と一次統計等との連携強化	○ マクロ統計の原因不明のギャップである、①SNAでの「統計上の不具合」、②国際収支表での「誤差脱漏」、及び③産業連関表での「分類不明」などを解消すべきではないか。SNAでは供給・使用表(SUT)を調整の場として不具合を解消できないか。 ○ 総務省中心の産業連関表基本表、経産省の延長表、内閣府のSNA産業連関表については、データベースの共有化、共同作業化などを議論できないか。
			別添2	4 社会・経済情勢の変化や、施策への取組状況と関連施策の状況等を踏まえ、目標や施策の枠組みの見直し、整理・統合等を行うべき項目・事項はないか。	22(1) 国民経済計算の整備と一次統計等との連携強化	○ 基礎データ(経済活動別財貨・サービス投入表等)の推計方法に関する情報の共有及び共同での基礎データの作成を検討すべきではないか。 ○ 加工統計における複数府省の共同作業の推進(データベースの共有、年次の産業連関表関連作業等)が必要ではないか。 ○ 2008SNAへの対応
			別添2	3 国際動向への対応や国際比較可能性の確保・向上		
産業関連統計タスクフォース 7月12日(金) 13:00～15:00	(1)サービス活動に関する統計の整備	第2-1(3)国勢統計、国民経済計算、経済構造統計の重要性、 第2-3(1)サービス活動に係る統計の整備	別添1	4 社会・経済情勢の変化や、施策への取組状況と関連施策の状況等を踏まえ、目標や施策の枠組みの見直し、整理・統合等を行うべき項目・事項はないか。	23(1) サービス活動に係る統計の整備	○ 府省の役割分担と、経済センサス・活動調査や商業統計調査、中小企業実態基本調査、経済産業省企業活動基本調査、動態調査(サービス産業動向調査、特定サービス産業動態調査等)などの既存調査との役割分担を考慮しながら、サービス産業全体の構造統計に関する将来のあり方を整理する必要があるのではないかと。 ○ サービス産業の構造や動態を統一的に把握するよう努めるべきではないか。 ○ 経済統計の体系的整備については、以下の点に留意しながら進めることが望ましいのではないかと。 ・経済産業省企業活動基本調査の対象産業の大幅拡大やサービス産業動向調査の更なる整備等によって、広義のサービス産業の構造や動態の把握に努めるべきではないかと。
	(2)企業活動に関する新たな統計整備		別添2	1 経済・雇用の動向をより適時・的確に捉え提供する統計の整備		○ 将来の経済センサスのあり方の検討 ○ 企業グループ内の企業間取引の実態把握の検討
SNAタスクフォース (第2回) 7月26日(金) 10:00～12:00	○国民経済計算の整備と一次統計との連携強化(次期基本計画に向けた方向性の検討)	第2-2(1)国民経済計算の整備と一次統計等との連携強化、(5)財政統計の整備、(6)ストック統計の整備				
産業関連統計タスクフォース (予備回) 7月30日(火) 10:00～12:00	(1)サービス活動に関する統計の整備	第2-1(3)国勢統計、国民経済計算、経済構造統計の重要性、 第2-3(1)サービス活動に係る統計の整備				
	(2)企業活動に関する新たな統計整備					
第2回 7月31日(水) 16:00～18:00	(1)環境、観光に関する統計の段階的な整備	第2-3(5)環境に関する統計の段階的な整備、(6)観光に関する統計の整備	別添2	3 国際動向への対応や国際比較可能性の確保・向上		○ 旅行・観光サテライト勘定(TSA)の精度向上
			別添1	1 現行基本計画に掲げられた所期の目的(目標)はおおむね達成しているものの、施策の内容が次の段階を予定したステップとして位置づけられるなどの計画の中で位置づけを踏まえ、更なる取組の発展・充実を図るべき項目・事項はないか。	22(5) 財政統計の整備	○ 国際比較可能な財政統計、社会保障統計の整備のため、現金ベースでなく発生ベースによる記録、公表までのタイムラグの大幅な短縮が必要ではないか。
	(2)その他経済統計に関する統計の整備	第2-2(1)国民経済計算の整備と一次統計等との連携強化、(2)ビジネスレジスターの構築・利活用(5)財政統計の整備、(6)ストック統計の整備 第2-3(1)サービス活動に係る統計の整備、(7)グローバル化の進展に対応した統計の整備	別添1	3 現行基本計画に掲げられた所期の目的達成が困難な(又は実効性のある取組が当面期待できない)ため、目標や施策の枠組みの見直し・整理・統合を図るべき項目・事項はないか。	22(6) ストック統計の整備	○ 我が国の国富統計は1970年を最後に作成されておらず、その後のストック統計の精度を確かめられない。国富統計の作成は困難ではあるが、基本計画に記述すべきかどうかも含めて、整理しておくことが重要ではないか。
			別添2	3 国際動向への対応や国際比較可能性の確保・向上		○ SNAの適及推計は、拡大する体系と複雑化する計算過程の下で、適及改定(早期適及、長期適及)を速やかに行えるようシステムの抜本的改善が必要ではないか。 ○ 財政統計、社会保障統計の発生ベースによる記録、公表の早期化
第3回 8月19日(月) 13:00～15:00	○第1WGのとりまとめ①(骨子案)					
第4回 9月12日(木) 13:00～15:00	○第1WGのとりまとめ②(報告書案)					

※ 別添1： 施策の効果に関する評価の「視点」と現行基本計画の対応状況

※※ 別添2： 勘案すべき「社会・経済情勢の変化」と具体的な検討事項